

「気持ちを歌で伝えよう ～スマホを使って1コーラス作りにチャレンジ～」
レポート（第3回目）

開催日：2022年10月15日 @アクトシティ浜松コンgresセンター

全6回のワークショップを通して、スマホを使った1コーラスの歌と曲作りにチャレンジするワークショップの第3回目を開催しました。講師は、第1回目に引き続き、ジョン先生です。今回の目標は、1コーラスのサビ（曲の中で最も盛り上がる聞かせたい部分）の8小節をすることです。どのように音を組み合わせていくのか、今回も楽しみです(^_^♪

第1回目に出された宿題（歌詞を作ること）を参加者の皆さんがジョン先生に提出するところからスタートしました。



まずは基本となるダイアトニックコードで、基本のコード進行を教わりました。コード進行には、王道進行、カノン進行、小室進行など決まったパターンがあるそうです。メロディをそのまま使うのは著作権的にNGですが、コード進行は共有財産として使えるそうです。皆さん各自の好きな曲のサビのコード進行を調べました。自分の好きな曲のコード進行は、「楽器.me」等インターネットで簡単に探すことができました。

曲全体を作る順序として、最初にサビを作るそうです。サビを作る順序は、①中心となるコードを入力。②ドラムを決める。③ベースを追加する。④ボーカルよりも高い音のバック音を追加する。（リードメロディなどを追加する。）です。低い音を作って、高い音を加える順番です。AメロやBメロなどサビ以外の部分は、サビで作った4つの要素から引いたり足したりして作っていくそうです。これが曲の作り方の基本となるようです！



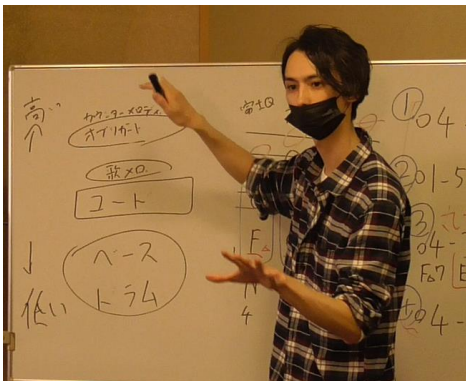
ベースを追加する方法は、ベースの種類を選び、コード進行をベースの音にコピーし、一番低いルート以外の音を削除して、ベース音を単音にします。その後、1オクターブ低くするとベースのパートの基本ができました。後はベースの一音一音の長さを変えるなどアレンジすれば、ベースの完成となります。

リードメロディも同じような方法で作りました。
バイオリンなどリードメロディの種類を選び、コード進行の音をコピーし、一番高い音以外の音を削除して、単音にします。C4 くらいの音の高さで作ると良さそうです。

最後はメロディの入力です。皆さん、考えてきた歌詞の言葉の数に合わせて、音を入れていきます。言葉のイントネーションを考えながら入れていきます。

最初に作ったサビの 8 小節を 1 つのセクションとして、コピーして、いくつかのセクションを作ります。それぞれのセクションでは、楽器のパートを引いたり増やしたりしていくことで 1 曲ができあがります。音が減ったり増えたりすると曲全体としてメリハリがつかます。テンポも感覚的に簡単に変更できました。

ジョン先生の作った曲を聴きながら、制作過程を教わりました。先生の曲は幻想的なもので、たくさんの音を重ねて作られていました。



今回の宿題は、歌詞を吹き込む前まで、メロディも入れた 1 コーラスを作ってくることになりました。

試行錯誤しながら試していけるといいですね(^ ^)/

次回はいよいよ歌を録音する方法を学びます！今回の宿題をする中で疑問に思うことも出てくると思うので、次回ジョン先生に聞きたいことをメモしてみるのも大事かもしれないですね。